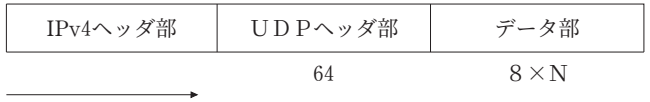
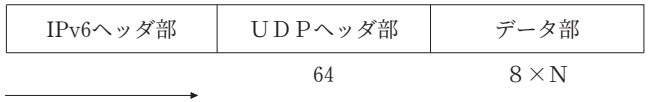
別表第七号　ＩＰパケットの送出手順

1　IPv4パケット



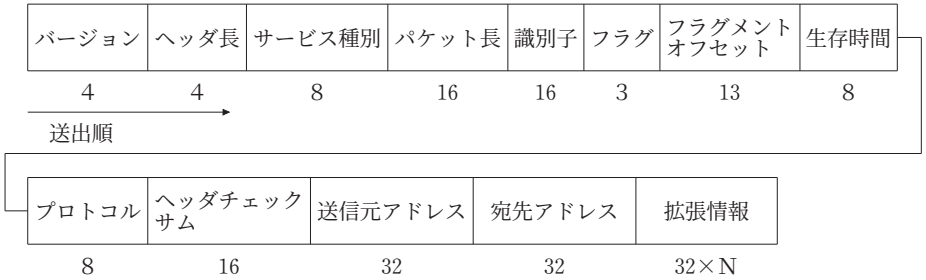
注１　IPv4ヘッダ部の構成は、別記第１に示すとおりとする。
　２　ＵＤＰヘッダ部の構成は、別記第２に示すとおりとする。

2　IPv6パケット



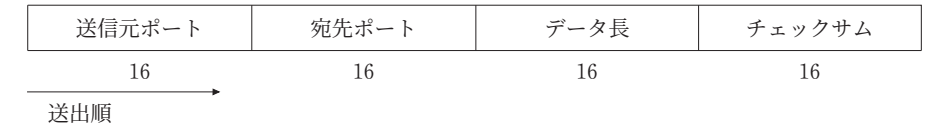
注１　IPv6ヘッダ部の構成は、別記第３に示すとおりとする。
　２　ＵＤＰヘッダ部の構成は、別記第２に示すとおりとする。

別記第１　IPv4ヘッダ部の構成



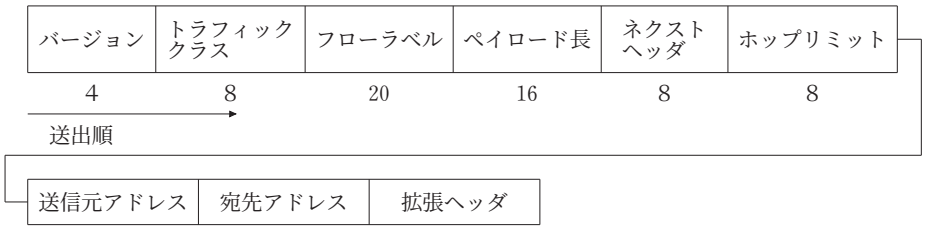
注　各項目はＩＥＴＦ　ＲＦＣ　791に従うこととする。

別記第２　ＵＤＰヘッダ部の構成



注　各項目はＩＥＴＦ　ＲＦＣ　768に従うこととする。

別記第３　IPv6ヘッダ部の構成



注　各項目はＩＥＴＦ　ＲＦＣ　2460に従うこととする。

別表第八号　ＴＬＶパケットの送出手順



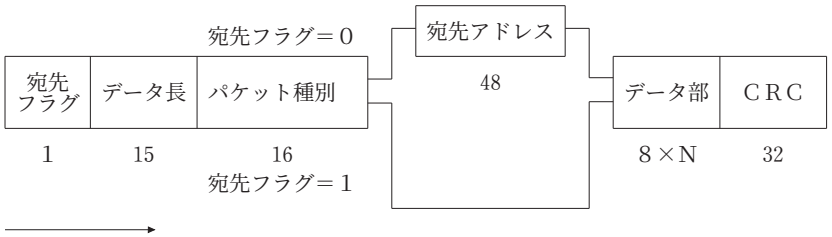
注１　パケット種別は、ＴＬＶに格納するパケットの種別を識別するために使用する領域とし、その割当ては別記に示すとおりとする。
　２　データ長は、これより後に続くデータバイト数を書き込む領域とする。

別記　パケット種別の割当て

パケット種別の値	割当て
0x00	未定義
0x01	IPv4パケット
0x02	IPv6パケット
0x03	ヘッダ圧縮したＩＰパケット
0x04-0xFD	未定義
0xFE	伝送制御信号パケット
0xFF	ヌルパケット

注　ヌルパケットは、データ長に示される長さの0xFFのバイト列をデータに書き込んだパケットとする。

別表第九号　ＵＬＥパケットの送出手順



注１　宛先フラグは、宛先アドレスの有無を識別するために使用する領域とし、その値は別記に示すとおりとする。
　２　データ長は、パケット種別より後に続くデータバイト数を書き込む領域とする。
　３　パケット種別は、データ部に格納するパケットの種別を識別するために使用する領域とする。
　４　宛先アドレスは、ＵＬＥパケットの宛先アドレスを書き込む領域とする。
　５　ＣＲＣは、ＩＥＴＦ　ＲＦＣ　4326に従うものとする。